

8月10日を「バリ取りの日」に制定／ジーベックテクノロジー

株式会社ジーベックテクノロジーはこのたび、
8月10日を「バリ取りの日」に制定いたしました。

記念日の由来

バリ取りは、「バリなきこと」という図面指示により、
長きにわたって、直視されずに来た分野です。
しかし、品質にこだわる、世界に冠たる
日本のものづくりの肝となる仕上げ工程です。

ジーベックテクノロジーは、独自開発の技術により、
バリ取りの自動化・効率化を進めて参り、
その活動は世界40カ国にまで広がっております。

このたび、ジーベックテクノロジーは
8月10日を「バリ取りの日」と制定し、
日本記念日協会に認定していただきました。
**バリ取り自動化100%実現への決意を新たにするとともに、
ユーザの皆様がバリ取りの効率化・品質安定化を意識する日、
バリ取りに懸命に取り組まれている方々への感謝の意を表す日として行きます。**

バ（8）リ取（10）りから、8月10日を「バリ取りの日」とすることを決定しました。

当社が事務局を務めるバリ取り大学と連携させ、
ただ製品を開発・提供するだけでなく、
バリ取りの意識を改革できるようなイベントを提供していきたいと考えております。

社長ブログにも「バリ取りの日」に込めた想いを綴っておりますので、ご一読ください。
<http://xebec-tech.cocolog-nifty.com/blog/2016/12/810-8f08.html#more>

補足資料

1) バリとは

バリとは、金属やプラスチック等素材を加工する際に出る、
素材の出っ張りのことです。
バリが残っていると、部品を正確に組み付けることができず、
期待する性能を発揮しなかったり、
脱落して誤作動の原因になったりします。

そのため、バリはしっかり取らなければなりません。
部品の設計図には、大抵「バリなきこと」と記載されております。
バリを取って、しっかり仕上げる工程は、製品の品質、
企業の信頼性を左右する重要な工程です。
つまり、世界で信頼されるものづくりを推進する
日本の製造業の価値を上げられる工程なのです。

2) 従来のバリ

そんな重要な工程である、バリ取りですが、
従来、人の手作業で対応することが常識化されておりました。

それは、前加工の工具の磨耗状態で、バリが変化したり、
さまざまな場所に発生することから、人でないと対応できなかったからです。
一日中、顕微鏡を覗きながら、
非常に繊細なバリ取りをしている方もいらっしゃいます。
何万回転も回るようなエア工具で火花を散らしながら、
バリ取りをしている方もいらっしゃいます。
大事な工程ですが、どうしても負担の大きな単純作業になってしまうために、
担当者のモチベーションが上がらないのが現実です。

残念ながらバリ取り作業を楽しんでいると思って
取り組んでいる方にはお会いしたことがありません。
これは、日本だけではなくありません。
世界中で同じことが起こっています。

3) バリ取り自動化（ジーベックテクノロジーの取り組み）

ジーベックテクノロジーは、
独自に開発したセラミックファイバー製の工具の特長を生かし、
2007年より、本格的に、バリ取りを工作機械やロボットで自動化しましょう、
という啓蒙活動を行って参りました。

当社は、バリ取り工程を自動化することにより、
作業者を単純作業から解放し、創造的で価値を生む仕事に
従事してもらいたい。
仕事にやりがいを感じ、
明るく前向きな人生を歩んでももらいたいと考えております。
今では、世界40カ国に展開し、
世界の名だたる自動車関連メーカー以外にも、
各分野の一流企業にご採用いただいております。

2014年からは、バリに関する知識やノウハウを提供する
「バリ取り大学」という事業も開始しました。
セミナーや展示会での企画を通じて、幅広いユーザで、
バリ取り効率化を推進できるようなサポートをしております。

ご不明点等ございましたら以下までお問い合わせください。
よろしくお願いたします。

敬具
2016年12月吉日



株式会社ジーベックテクノロジー
東京都千代田区麹町 1-7-25 フェルテ麹町 1・7ビル 8F
TEL : 03-3239-3481 FAX : 03-5211-8964
info@xebec-tech.co.jp
PR・マーケティング部 服部・田尻